



SHOW COM

Vol.10

～最新のお笑い情報をいち早くお届けするフリーペーパー『SHOW COM』（ショーコン）～

Interview 01：あばれる君



●オープニングで、いきなり生まれてましたね～。
あばれる君：生まれましたね～。やっぱり、そういうパフォーマンスも必要ななと思って。安産でした（笑）。
●こちらのDVDは単独ライブを収録されたそうですね。
あばれる君：はい、公演日は9月25日と26日、そして25日は僕の誕生日でした。そういう意味でも“うまれる君”です。
●そこも引っかけたわけですね！
あばれる君：それ以外にも、いろいろ引っかけているんですよ。ネタが生まれる、笑いが生まれる……、いろんなものが生

まれる。縁起のいい言葉です。
●ご自身の中で、一押しネタは？
あばれる君：やっぱり、「ショートコント」ですかね。今までの僕のネタって、考えさせるものが多かったんですよ。でもこのネタは何も考えず、互いに感覚でぶつかり合おうというネタです。逆に自分の中ですごく新鮮で、やっていて楽しかったですね。スベっても、落ち込んでいる暇がないんですよ。すぐ次のネタに行かなきゃいけないので。心が折れたのは、30連発中の29発目でした（笑）。
●確かにものすごい量掛けなので、“ショート・コント・ハイ”と言いましょか、

活躍の場をどんどん広げている“あばれる君”が新たな一面も見せた第2弾単独ライブを収録！

だんだん面白くなってきますね。そして長いネタに関しては、やはり、あばれる君特有のペースが感じられます。
あばれる君：ペース感じますか!? 出したかったんですよ、ペース! ……初めて聞いた言葉ですけど（笑）。
●観ていてももちろん笑えるんだけど、ちょっと悲しいんですね。
あばれる君：そうですね、ハートフルというか、ちょっと切なくなるというか……。余韻の残るものにしたいんです。パッド・エンディングだろうが、ハッピー・エンディングだろうが、心に残るものにしたいという思いがありますね。
●作品として、そういうものが好きなんですか？
あばれる君：好きなんです。例えば野球でも、サヨナラ勝ちのシーンが大好きなんです。ラグビー日本代表の金星なんて、ドンビジャでした。何回見ても泣ける！
そういう感動や逆転とかが大好きなので、ネタの節々に出ているのかも。
●お気に入りのキャラクターは？
あばれる君：「ヘアワックス屋」の人ですかね。声を張らずに演技することは、自分の中でも挑戦だったんです。渋さを出したかったので。そうしたら、意外とみんな“良かったよ”と言ってくれたので、そ

の気になってます（笑）!
●前回と今回の単独で、大きく変えたところはありますか？
あばれる君：今までは言葉で笑わせていたのですが、言い回しだけにこだわらず、目で見てわかるようなものにしてます。だから「ショートコント」みたいな自分の中で新しいことが、できたんだと思いますね。
●単独ライブの意義とは？
あばれる君：年一の、自分の価値観を表現するもの。僕は単独ライブ全体、頭から最後までが作品だと思ってます。名刺というか、音楽家が書く曲、小説家が書く小説のようなものですね。
●メッセージをお願いします。
あばれる君：僕はネタで世に出させてもらったと思っているので、渾身のネタを観ていただけたら嬉しいです。



あばれる君
「あばれる君単独ライブ
「うまれる君」」
露出が増え、活躍の場を広げているあばれる君の最新ネタ11本と、ガチでチャレンジしたヒッチハイクの旅を特典映像に収録!
ANSB-55209
¥3,000+税
2015年12月23日発売

Interview 02：日本エレキテル連合



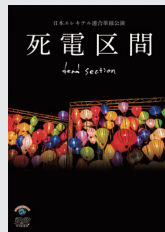
●今回の『死電区間』全国ツアーが一番印象に残っていることを教えてください。
中野聡子（以下：中野）：幕が上がったとき、客席のお客様から歓声が聞こえた時、そこがすごく大事で。今回のオープニングは、私たちは舞台にいないので、そこにあるのはセットだけなんです。
橋本小雪（以下：橋本）：そこは私たちじゃなくて、音響さん、照明さん、設営してくださったスタッフさんたち、マネージャーとか社員さん、アルバイトさんたちか作ってくださった舞台なので、その方たちのための時間として設けたくて。
中野：なので、舞台幕が上がった瞬間に

上がった歓声は、スタッフさんたちに送られたものと思うと、嬉しかったですね。
●コントの見せ方について、『死電区間』とこれまで意識は変わりましたか？
橋本：私たちのコントはよく“不親切”と言われるというか、“勝手に解釈してくれたらいい”というところがある。
中野：でも、みなさんお金を払って観てくださっていますし、もちろん満足して帰ってほしいですから、お客さんにも意味がわかるように、かといって、わかりやす過ぎると私は“味がない”と思うので、そのあたりは気をつけました。ゆくゆくは、エゴにはならないようにしつつ、

「今の自分たちにしかできない」という彼女たちの真っ直ぐな思いがたっぷり詰まった最新作!

“私たちが思うことが正解”って思ってもらえるようにはなりたいです。
●『死電区間』を作り上げていく中で、苦労した点や迷いが生じたことなどは？
中野：『死電区間』は、今の私たちにしかできないコントなので、未来にはできない過去にはできなかった、いろいろなことが2014年にあったから作れる舞台なんです。その、今しかできないことをやるという“粗さ”であったり“若さ”であったり、そういうことを素直に表現するのが難しかったですね。
●公演数を初めて知った時の感想は？
中野：(全国8か所は)“多い!”っていうのと、“どうしちゃったんだ! 大丈夫か!”と（笑）。あとすごいプレッシャーですし、しかも1日1公演じゃないですからね、2公演とか。橋本：朱美ちゃん、細貝さんは全国の方に知っていただけなんですけど、そこから先を自分たちが見せに行くということで、すごく嬉しい反面、“本当に来てくれるのかな”とか、めっちゃ緊張しました。
中野：遠くから私たちを観に来てくださる方もいっぱいなんですけど、来られない方もいるので、そういう方々ところに自分たちから行けるのは嬉しいですね。
●ツアー後は燃え尽きませんでしたか？
中野：いやむしろ、次のことを考えてしま

うというか、各公演にノートを持って行って、次の案を書いたり。始まるとスランプって言い訳して何もできなくなっちゃうんですけど、終わるとスランプ抜けるんです。
●読者にメッセージをお願いします。
中野：私たちが2014年にとんでもない状況になって、そこで苦悩したりしながら、次に行くステップの為にどうしてもやらなければならない舞台だったので、今の自分たちのメンタルでしか作れないものをやりました。今後絶対に見られない舞台ですし、このDVDでしか見られない演技をしているのでぜひ観てください。
橋本：すごく自信作です。みんなで作った、照明だったり、音であったり、お客さんの声であったり、全部ひっくるめて1個の作品になってますので、何も考えずに楽しんでほしいです。



日本エレキテル連合
「日本エレキテル連合
単独公演「死電区間」」
単独公演作品の第2弾。8本のネタと、公演内で上映した幕間映像をDVDに収録(2015年7月、東京赤坂草月ホール)。
ANSB-55208
¥3,800+税
2015年12月23日発売

